

秋田県加工食品輸出拡大協議会

お話を聞きした方

左：会長（㈱稲庭うどん小川代表取締役社長）
小川 博和 さん

右：㈱稲庭うどん小川専務取締役
小川 選子 さん



「秋田」の魅力とともに、地域が誇る加工食品を世界へ！

秋田県内の食品製造事業者6社が、各事業者が製造販売する加工食品を秋田県の魅力と合わせて発信し、海外マーケットにおける認知度を向上させつつ海外輸出を拡大するため、令和5年2月に協議会を設立しました。

- ・株式会社稲庭うどん小川（乾麺）
- ・株式会社大湯村あきたこまち生産者協会（コメ・コメ加工品）
- ・株式会社花善（冷凍弁当・味噌付けきりたんぽ）
- ・有限会社石孫本店（味噌・醤油）
- ・有限会社まこと農産（いぶりがっこ）
- ・株式会社木村酒造（日本酒）

事務局は（株）稲庭うどん小川が務めています。マスコミ対応は別の事業者が担当するなどお互いの強みを活かした体制としています。

令和5年10月には世界最大級の展示会であるドイツの「ANUGA2023」に共同出展し、併せてフランス各地で試食会・商談会等のイベントを開催しました。

また、同年秋から香港及び米国のバイヤーを秋田に招聘し、6社の製造現場を見てもらうことで各事業者の商品の魅力を発見してもらう取組を行いました。

最終的な取引開始に向けてはどうしても各事業者の努力が必要となりますが、その過程においても、お互いフォローしあいながら、6社全ての輸出が進むよう連携しています。



フランスでのPRイベント

協議会を組成することで、これまで単独では出来なかった新たな取組が始まっています。また、お互いが取引のあるバイヤーを紹介したり、商談で幅広い商品提案ができるようになるなど相乗効果も生まれており、それぞれの商品を世界中に売り込んでいけるよう、**異なる取り組み強化を模索**しています。



香港のバイヤー（左）招聘・産地紹介

Q. 協議会を立ち上げたきっかけは？

各事業者は既にそれぞれ輸出に取り組んでいました。さらに輸出を拡大するためには資金面からみても複数の事業者が連携しつつ、お互いの強みを生かして輸出に取り組むことが必要と感じ、協議会を立ち上げました。

Q. メンバーの6社はどのように集まったのですか？

過去の展示会や商談会で面識があって、輸出に対して同じ想いを持つ秋田県内の6事業者が集まることになりました。頻りに連絡を取り合うなどコミュニケーションを大事にしています。

Q. 工夫した点は何ですか？

会員間でライバル関係にならないよう会員は「1業種1社」としました。これにより、例えば展示会では自社以外の商品もPRしています。また、ブース対応を他事業者に任せている間に商談が出来るなど効率的になりました。

Q. クラスター組成を考えている事業者にアドバイスがあればお願いします。

お互いの持つノウハウや強みを合わせることでこれまで出来なかった取組ができるようになります。メンバーの輸出への強い想いと、他人任せにしないという主体性があればきっとうまくと思います。

団体概要

所在地 秋田県 会員数 6社
 設立年 2022年
 HP <https://akita-food.com/jp/>

STEP 1/4

令和5年2月
「秋田県加工食品輸出拡大協議会」の立ち上げ



STEP 2/4

令和5年10月
海外の展示商談会への出展や海外現地イベントの開催



STEP 3/4

令和5年11月～
海外バイヤーを秋田に招聘し、生産現場の紹介・商談を実施



STEP 4/4

これまでの経験やノウハウを活かし、新たな取組の実施により輸出を促進



輸出までの道のり